

【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	島田市家庭教育支援チーム (呼称:ペアレントサポーター)
活動開始年度	平成 17 年度
活動拠点	島田市教育委員会 社会教育課
活動範囲	静岡県島田市内(主に小学校、公民館)
活動財源	<input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(地域における家庭教育支援総合推進事業) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(先駆的家庭教育支援推進事業) <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ()
組織体制	<u>17 人</u> 島田市ペアレントサポーター17人(静岡県家庭教育支援員8名含む)
具体的な活動内容	<input checked="" type="checkbox"/> 講座型 <input checked="" type="checkbox"/> 拠点型 <input type="checkbox"/> 訪問型 <input type="checkbox"/> 総合型 <input type="checkbox"/> その他()
	○子育て広場、あかちゃん部の開設 公民館等の施設で、子育て中の方が子供と一緒に集まる居場所作りを行い、情報交換や日常的な交流の場を提供している。 ○保護者を対象とした学習会の開催 市内の小学校と連携し、保護者がグループワークを行う学習会を実施している(グループワークでは静岡県作成の家庭教育ワークシート「つながるシート」を活用)。 ○就学時健診や入学説明会における「親学講座」の実施 就学時健診や入学説明会等を活用し、すべての保護者に家庭教育の学びを届ける「親学講座」を実施している。
活動の成果	・子育て広場、あかちゃん部が保護者の息抜きの場となっている。同じ月齢の子供の様子を見たり保護者同士で話したりすることで、子育ての悩みや楽しみを共有できる場となっている。 ・保護者が「つながるシート」を使ったグループワークを行う学習会では、母親としての先輩であるペアレントサポーターが和やかな雰囲気作りをするため、安心して話合いができる。また、日頃の何気ない悩みや不安について相談できることも、保護者の安心につながっている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・母親としての先輩であるペアレントサポーターが「親学講座」を行うことで、保護者の不安を和らげている。自身の失敗談を交えながら話すため、保護者は親近感を持つことができ、話を受け入れられる。また、子供への接し方についての具体的な事例が分かりやすいという評価を得ている。
活動において苦労した点や課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新たなペアレントサポーターの人材確保が難しい。 ・市長部局担当事業や小中学校等にチームの活動の場を広げていきたいが、受け入れられないことがある。そのため、行政関係者、福祉関係者、幼児教育関係者、小・中学校教員等に「つながるシート」を活用した家庭教育講座について周知するとともに、その有効性の理解を進める。
今後の活動目標	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、保護者の学びの場の提供や居場所作りを行っており、今後も継続する。 ・島田市の保護者の実態に応じた「島田版「つながるシート」」を作成する。
問合せ先	<p>(部署・氏名等) 静岡県島田市教育委員会 社会教育課 (TEL) 0547-36-7963 (E-mail) syakaikyouiku@city.shimada.lg.jp</p>